

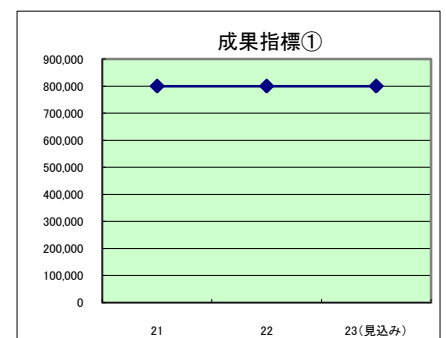
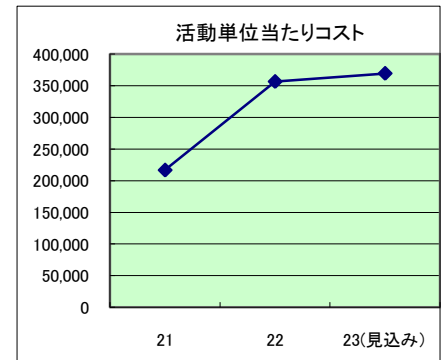
平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号

生産01

事務事業名		道の駅しらとりの郷・羽曳野管理運営事業		会計	7	健康ふれあいの郷事業特別会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち	款	1	管理費	
				項	1	管理費	
				目	1	健康ふれあいの郷管理費	
				事業	1	健康ふれあいの郷管理	
施策(節)	7	土地利用・市街地整備					
施策の方向	(3)	魅力ある交流拠点の推進					
関連する計画等				南河内健康ふれあいの郷構想		作成部署	
						生活環境部産業振興課	
事業の目的	対象(誰を・何を)			連絡先	072 - 957 - 6900 内線		
	施設利用者						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	地域産業の振興、地域交流及び情報の受発信並びに憩いと安らぎの場を提供する。						
	当道の駅は、南阪奈道路沿いという奈良県、大阪市内、関西国際空港などからのアクセスに優れ、南河内地域の玄関口として位置する。こうした立地性を生かし、大阪府が整備した道路利用者のための休憩・情報案内施設と羽曳野市が整備した憩いと健康づくりのための野外活動広場、地域の特産品、加工品などを販売する羽曳野市商工会の商工物産館「タケル館」、地元の新鮮な農産物を販売するJ A大阪南農産物直売所「あすかてくるで」を設置している。						
	休場日 木曜日・年末年始						
根拠法令等		羽曳野市立道の駅しらとりの郷羽曳野条例					
事業開始時期		☐ 昭和 19 年開始 ☐ 明確にはわからない ☒ 平成 ☐ 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度	
事業開始時からの状況変化		雑誌・放送メディア情報等の影響にもより、近隣市・他府県からの問い合わせ来場者が増えている。					
市民や議会の要望		駐車場問題・交差点混雑解消の要望等がある。					
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市シルバー人材センター) ☒ 民間委託 ☐ その他		委託内容		駐車場誘導業務、トイレ清掃業務、機械警備業務	

区 分		21年度	22年度	23年度	
		(実績)	(実績)	(見込み)	
事業費【1】 (千円)		41,761	89,599	86,348	
人件費【2】 (千円)		25,665	19,860	27,420	
職員数	正規職員	1.25 人	1.00 人	2.00 人	
	再任用職員	6.90 人	5.00 人	6.20 人	
	嘱託職員	0.75 人	0.90 人	0.00 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		67,426	109,459	113,768	
財源内訳	国費 (千円)				
	府費 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	41,761	89,599	86,348	
	一般財源 (千円)	25,665	19,860	27,420	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 施設の開場日数		日	311	307	308
②					
③					
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】 ①)		216,804 円	356,544 円	369,377 円	
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		567 円	927 円	964 円	



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	来場者数 (式)	人	にぎわい交流や産業振興など地域活性化の目安として設定	目標	800,000	800,000	達成率(%)	800,000
					実績	800,000	800,000	100.0%	
	②	(式)			目標			達成率(%)	
					実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	施設の魅力を高め、より多くの来訪者による地域活性化を図る上で市の関与は必要である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	市民のニーズにも対応した施設であり、大阪府・J A・商工会と連携して実施している事業であるため、休止・廃止をした場合の影響は多大である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☒	☐	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	店舗は、J A・商工会直営方式・施設管理等においても一部委託を行い、効率的かつ効果的な運営を図っている。
		受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市総合基本計画や市政方針においても重要事業として位置付けられており、地域活性化への貢献度は高いが、さらなる地域活性化に向けより多くの来訪者の確保に努める必要がある。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☐	☒	☐	今後さらに来訪者の意見や要望を踏まえた施設運営や地域産業の振興策を講じる必要があり、施設で実施されるイベント等の情報は、はびきの広報で周知を図っているが、今後はホームページなどでも周知を行いたい。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☐	☐	☒	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	雑誌・放送メディア情報等の影響も有り近隣市・他府県からの来場者も多く、施設の目標は達成できている。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価	
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
	評価の理由	
	目標を満たす来訪者が有るが、さらなる地域活性化に向け、より多くの来訪者の確保に努める必要がある。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 大阪府・J A・商工会との緊密な連携の下で、情報発信拠点としての機能充実を図り、より多くの来訪に努める。	
	総合評価	
行革本部評価	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善	
	☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了	
		評価理由・意見